



第 565 号 令和 7 年 8 月 1 日  
発行所 京都市学校医会  
京都市中京区間之町通竹屋町下ル  
楠町 601-1 こどもみらい館 2 階  
T E L (075) 256-0351  
F A X (075) 241-3568  
発行人 井 本 雅 美

## 京都市教育委員会との懇談会と指定都市学校保健協議会の報告

会 長 井 本 雅 美

京都市教育委員会との懇談会が 7 月 12 日に開催されました。

教育委員会からは稲田教育長、体育健康教育室の関室長、井上課長、西村係長に出席していただき、学校医会からは、耳鼻科、眼科を含め 17 名が出席しました。

議題の 1 つめ、昨年に引き続き、教育委員会が全市幼稚園・学校に対して行った定期健康診断の実施状況調査結果について報告を受けました。特に注目していたのは、教職員の介助の実態です。正確な聴診や脊柱検査には教職員・養護教諭の介助が必須と考えていますが、昨年度は介助が十分に行われておらず、学校医側からは、健診がやりにくかった、十分に診断できなかったという意見が寄せられたため、今年度は各学校に介助の徹底をお願いしていました。

今年度のアンケート結果では、脊柱検査時に教職員あるいは養護教諭の介助があったのは約 66% で昨年より若干上昇しましたが、約 35% は児童生徒自身、あるいは学校医が着衣を上げており、また、着衣の上から診察は約 25% ということでした（複数選択可）。今後、教育委員会より、教職員が介助していない学校への聞きとり調査を行ってもらう予定です。

学校医の先生方に対しても、先月号の校医ニュースにアンケートを同封させていただきました。学校

医に対するアンケートの現時点での結果も類似した割合になっていますが、まだご回答いただいていない先生方のお返事を引き続きお待ちしております。

もう一つの議題、成長曲線活用の促進です。成長曲線活用委員会のメンバーと教育委員会との検討会を経て、「京都市における成長曲線活用マニュアル」が作成され、今年度の健康診断に間に合うように配布されました。今後、成長曲線活用委員会で対応した児童生徒のその後の状況について調査が進められます。

第 76 回指定都市学校保健協議会が仙台で開催され、仙台医師会主催の学校医研修会と懇親会が 7 月 20 日に開催されました。今年の研修会は、内科小児科対象、眼科対象、耳鼻咽喉科対象の講演が時間をずらして順番に行われたため、全ての研修会に参加することができ、日ごろの診療で馴染みのない問題についても学ぶことができました。当日の研修会、および翌日に開催された仙台学校保健会主催の記念講演、ポスターセッション、パネルディスカッションにつきましては、今月号の校医ニュースから報告いたします。

仙台は一般的に夏でも比較的過ごしやすい気候で知られているそうですが、今年の仙台は猛暑日が観測史上最多で、開催日も厳しい暑さでしたが、やはり京都よりは若干過ごしやすく感じました。来年の指定都市学校保健協議会は川崎市で開催されます。

# 岡田先生の御講演「発達障害のある子どもたちと 教育の役割」を拝聴して ～その2～

## 神経発達症と発達障害をめぐって ～DSMとICDの視点から～

乾隆小学校医 八 田 佐知子

2025年6月28日奈良県立医科大学精神医学講座教授岡田俊先生をお招きしての研修会の感想の続きです。

日本において発達障害は、2004年に制定され2016年に改正された「発達障害者支援法」において「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であって、その症状が通常低年齢において発現するもの」と定義されています。また、同法では「発達障害者の支援は個々の発達障害者の性別、年齢、障害の状態及び生活の実態に応じて」、「関係機関及び民間団体相互の緊密な連携の下に」、「早期に診断」され、「早期の発達支援」を受けることができ、「切れ目のない支援」が提供され、「地域社会において他の人々と共生することを妨げられないことを旨として」行われなければならない、とされています。

神経発達症はDSM-5では「典型的には発達期早期、しばしば小中学校入学前に明らかとなり、個人的・社会的・学業・または職業における機能の障害を引き起こす発達の欠陥により特徴付けられる、発達の欠陥の範囲は、学習または実行機能の制御といった非常に特異的で限られたものから、社会的技能または知能の全般的な障害まで多岐にわたる」とされています。そこには、知的能力障害、コミュニケーション症群、自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、限局性学習症、運動症群が挙げられています。ICD-11では知的発達症、発達性発話または言語症群、自閉スペクトラム症、発達性学習症、発達性協調運動症、注意欠如多動症、常同運動症が含まれます。

これらの神経発達症群という特性がありながら、困難の本質は神経生物学的側面だけでなく、社会的側面にもあるということ。つまり、本人が日常生活で困り、とりまく人々もまた困難を抱えるという視点に立ち、(知的障害や脳性麻痺、てんかんを含まない狭義の)発達障害を早期に見つけ、困難を軽減す

る取り組みを始めることが急務であると感じました。

「自閉スペクトラム症」と「自閉症スペクトラム障害(広汎性発達障害)」は同義と考えてよく、前者が新しい表記のようです。

自閉スペクトラム症には自閉症、高機能自閉症、アスペルガー症候群などが含まれます。

えーと、えーと、ちょっと待って！

DSM-5はいつできたの？

ICDはいつの間に11に？

というか、精神科で使われている診断基準にDSMとICDがあることは常識なの？

DSMとは米国精神医学会によるDiagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders の略で、1994年のDSM-IVが出てから19年後、2013年にDSM-5が登場しています。さらにコロナ禍で慌ただしいうちにDSM-5-TR (Fifth Edition, Text Revision) が2022年3月に発表され、同年の6月には日本語版も出しました。

ICD (International Classification of Diseases) は世界保健機関が作成しているもので1990年のICD-10に続き、2018年にICD-11が28年ぶりに発表されています。

DSMは当初、入院する精神障害者の統計のために作られた一方、ICDはもともと死亡統計のために作成されており、公的な診断書ではICDによる記載が求められます。この二者は疾患の捉え方や分類方法に違いがありますが、近年は少しずつ共通性を高める方向で調整が進められているそうです。

DSMの初版やⅡはそれぞれの精神障害の説明文が記されている形式でしたが、Ⅲからは具体的な診断基準が項目として整理され、さらに改定されたDSM-IVが長らく使われ、2013年からDSM-5へと移行しました。なお、表記がローマ字の「Ⅴ」ではなく「5」になったのは5.1、5.2とバージョンアップ

していることを見据えた変更です。

DSM-IVまではカテゴリに基づく診断体系でしたが、DSM-5では「スペクトラム（連続体）」の概念が導入されました。

精神障害は明確に境界を持たず、他の精神障害と重なりあうことが多いため、連続体として理解することが求められるようになってきました。

まるで虹の色が赤から紫まで連続しているように、それぞれの精神症状も、どのあたりに位置するのか、複数の色（特性）を持つのかを見ていく姿勢です。

「スペクトル」も「スペクトラム」も同じ意味と考えて差し支えありません。

1970年代初めに放送されていた特撮ヒーロー番組「スペクトルマン」は地球を公害で汚染する人間をやっつけにきた宇宙猿人ゴリとラーと戦う、公害Gメンの蒲生譲二がネビュラ71の指令を受けて変身す

るヒーローでした。変身する前も変身中もひとつながりの「地球を愛するヒーロー」という連続性が「スペクトルマン」という名前に込められていたのかもしれない、と今回調べていて思いました。

自閉スペクトラム症は有病率の増加が報告されていますが、これは発達障害の方々が抱える不適応が今の社会構造のなかでより顕在化しやすくなっていることを反映していると考えられます。その「生きづらさ」は個々の状況や環境により異なり、また診断の閾値も必ずしも明確ではないことがわかりました。

少しずつの振り返りですが、自分なりの理解を深めながら、また続きを綴らせていただきます。

参考文献：押さえておきたいDSMのキホン

寄稿 松崎朝樹 週刊医学会新聞（レジデント号）第3536号

## 第76回指定都市学校保健協議会 記念講演

### 「笑顔と言葉でつなぐ子供の未来」 ～子どもたちの回復力を育む方法を学ぶ～

顧問 奥村正治

仙台での記念講演は、上記表題で、元日航の客室乗務員をなさっていた、第一印象研究所の「笑顔3割増し人材育成コンサルタント」の杉浦永子さんのお話でした。聴講者参加型でのお話で、お隣の席や、前後の席の方と、会話を通し講演を進めるという方式で進みました。私のお隣は、大阪からお見えの学校歯科の先生でした。

- 1) 児童生徒との関わりについて
- 2) 児童生徒と笑顔の関係性
- 3) 言葉がけの大切さについて
- 4) 現場に活かす実践編 の話題でした。

その中から、

2) の笑顔の話題では、笑顔の持つ力は、脳内のオキシトシンの分泌を高め、

①笑顔を作ると心も明るくなる効果があり、心の自己回復の促進につながっている。

②リラックス機能向上で、ストレス軽減効果が生まれる。

③笑顔は連鎖する要素から、笑顔は伝染します。

④信頼関係の構築ができていきます。

笑顔は子どもに安心感を「この人なら話してもいい」という関係を育みます。

また、あいさつの意味は？

挨拶→→→ 心を開く

挨拶→→→ 相手に近づく という意味で、

挨拶の4原則は？

あ→→→ 明るく

い→→→ いつも

さ→→→ 先に

つ→→→ 続けて一言 も大切ですよ。

笑顔は視覚からの印象になるので、最初の3秒の笑顔が大切ですよ。

当然ですが、笑顔を作るトレーニングもありました。（聴講者参加型）

3) 言葉がけの大切さについて の中で、相手は傾聴をしています。そこで

①相手の話が、自分の考えと違うと、その事を言

- いたくなる。
- ②相手の価値観に反論したくなる。
- ③相手の価値観と同じだと賛同したくなる。
- ④相手が全然わかっていない事を言うと、指導したくなる。
- ⑤興味や関心のあることは、深く聞きたくなる。
- ⑥興味からいろいろ質問したくなる。
- ⑦ハッキリしない態度に対して、イライラする気持ちがおこる。
- ⑧相手の話し振りから、勝手なイメージを作りあげてしまう。
- ⑨自分の体験と似た話には、自分の感情がおこってしまう。
- ⑩言葉や態度、表情などひとつのことにとらわれて、他のポイントを捉えられない。

- ⑪言葉を言い換えて確認したくなる。
- ⑫シナリオを持って関わってしまう。
- ⑬判断や方向性を誘導したくなる。
- ⑭別の用事が気になってしまう。
- ⑮始めのポイントにとらわれると、気持ちの変化についていけない。
- ⑯話し手が話し終わる前に話を要約して、復唱してしまう。
- ⑰次に話す事を考えてしまう。

このような話題は傾聴を妨げる関係になります。と、～子どもたちの回復力を育む方法を学ぶ～でしたが、グループワーク・ケースワーク・カウンセリングの手法の話題に尽きました。

## 全 理 事 会

令和7年8月2日 於：デュシタニ京都

**出席者** 井本会長、山内副会長、安野専務理事、大久保・小森・中嶋・西村・八田・守上各常任理事、関沢・關・米田・高田・辻各理事、松波耳鼻咽喉科専門医会理事、林議長、長村監事

### 会長挨拶

#### <報告事項>

1. 成長曲線活用委員会  
中学校 7名 西村先生  
小学校 6名 松尾先生、木崎顧問、西村先生
2. 京都市学校保健会 理事会・評議委員会  
7/8 於：京都市総合教育センター  
井本、八田、杉本、長村
3. 精神衛生研究会 7/10
4. 市教委との懇談会 7/12 於：斎阿うん
5. 色覚相談 7/15 2名
6. 第76回指定都市学校保健協議会・学校医研修会  
7/20 於：江陽ランドホテル  
井本・山内・長村・杉本、有井・奥村・鈴木顧問、柏井先生  
※来年は令和8年7月18日（土）川崎市で開催

7. 第76回指定都市学校保健協議会 7/21  
於：仙台国際センター展示棟  
井本・山内・長村・杉本、有井・奥村顧問
8. 第36回水泳記録会 7/28 出務なし
9. 第47回近畿学校保健連絡協議会 7/31  
於：神戸市立東灘区文化センター（うはらホール）  
井本
10. 各支部報告
11. その他

#### <協議事項>

1. 京都府医師会学校医部会幹事の推薦について
2. 京都市学校保健会 令和7年度功労者表彰について
3. 就学前の予防接種配布プリントについて
4. その他

#### <関連学会・各種協議>

1. 色覚相談 8/5、8/19、9/2 各2名
2. 京都府医師会との協議 8/18 14:00～  
於：事務局 井本、林、長村、杉本
3. 南支部会 8/23 18:00～ 於：ダッテン  
井本
4. 第4回常任理事会 9/6 14:00～  
事務局
5. その他